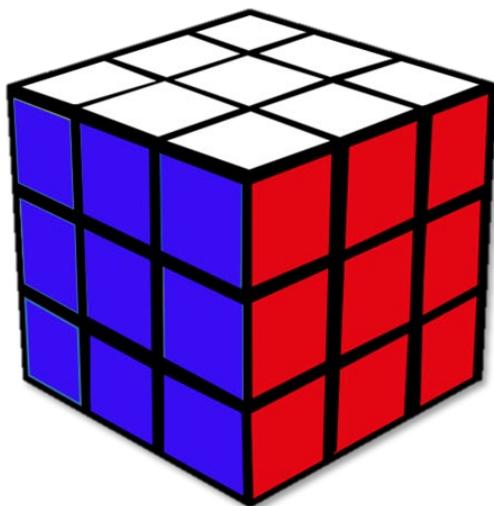


2026 年度派遣 サービスラーニング・プログラム 募集要項

コレひとつでぜんぶが揃う！

英語学習、アメリカでのインターンシップ、名門大学での聴講
3ヶ月ですべてが叶う、とんでもない留学



サービスラーニング・プログラム



立命館アジア太平洋大学
アウトリーチ・リサーチ・オフィス
第1版
(2025年11月25日)

サービスラーニング・プログラムとは

サービスラーニング・プログラムとは、APU で行われるキャリアに関する事前・事後授業、現地で行われる言語学習と UT Austin 正規科目の聴講、サービスラーニング実習(インターンシップ等)を組み合わせた、キャリア感への形成を担うプログラムで、APU の正課科目として行われます。

派遣先では、集中的に言語学習に取り組むとともに、企業や NGO の現場でジョブ・シャドーイング(Job shadowing)等を行い、キャリア選択の様々な視点を養うとともに、将来の進路・キャリアについて考え、学生生活における学習・獲得目標を明確にしていきます。また、学習言語を実践的に運用する機会を組み込むことで、より確実に語学力を定着させると共に、現地での暮らしを通して異文化理解能力も高めていきます。なお、本プログラムは、日本語基準学生を主な対象としています。

1度の留学で3つのコンテンツ

英語学習

(週 3 日)

UT Austin 付設
英語学校(ELC)で
英語学習 + ビジネス
英語学習

就業体験

(週 2 日)

大学/周辺企業/NGO
等での就業体験 及び
振り返り学習

テキサス大学 正規科目聴講

(週 2 日 1 科目)

全米トップクラスの大学で授業を聴講
(単位授与無し)

プログラム構成(全体)

2026 年度 春セメスター	<p>[APU] 事前授業</p> <ul style="list-style-type: none">・ インターンシップ科目(合計 4 回): 目標設定、自己分析、社会人基礎力について・ 英語学習(集中言語研修)(合計 4 回): インターンシップに向けた英語授業
2026 年度 8 月～11 月	<p>[現地実習]</p> <p>インターンシップ実習、関連授業(約 100 時間):</p> <ul style="list-style-type: none">・ 実習(約 92 時間): 週 2 回(4 時間×2 回)・ 振り返り、ビジネス英語学習(約 7 時間): APU 学生向け授業、目標設定、インターンシップ実習振り返り、ビジネス英語学習等 <p>英語学習/ELC 英語クラス(約 170 時間):</p> <ul style="list-style-type: none">・ 総合的英語運用能力の向上、異文化適応能力の向上、ビジネス英語 等 <p>UT Austin 正規科目聴講(約 35 時間)</p> <ul style="list-style-type: none">・ UT Austin 正規学生の授業を 1 科目聴講・ 単位付与はなし
2026 年度 秋セメスター・ 第 2 クオーター	<p>[APU] 事後授業</p> <ul style="list-style-type: none">・ インターンシップ科目(合計 4 回): 到達度、キャリア選択についての考察・ 英語学習(集中言語研修)(合計 1 回): 英語学習の振り返り

プログラム構成(現地実習中の基本的なスケジュール)

	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
AM	英語クラス ・ Listening/ Speaking ・ Writing ・ Grammar	UT Austin 正規科目聴講	英語クラス ・ Listening/ Speaking ・ Writing ・ Grammar	UT Austin 正規科目聴講	英語クラス ・ Listening/ Speaking ・ Writing ・ Grammar	Free time フットボール 観戦、郊外への日帰り旅行、UT Austin 各種イベント等
PM		インターンシップ 実習		インターンシップ 実習		
			各種アクティビティ			

UT Austin English Language Center(ELC) 英語クラスのレベルについて

Listening/Speaking, Writing, Grammar の各スキルで、英語レベルに応じたクラスに配置されます。

CEFR	English Language Program Levels
A1	Beginning: A student at this level can communicate on topics such as personal interests, daily routine, family, and likes/dislikes using words, phrases, and short sentences.
A2	High Beginning: A student at this level can initiate and maintain communication on topics related to daily life and can provide information in phrases, simple sentences, and short compound sentences.
A2+	Low Intermediate: A student at this level can communicate on familiar topics and provide information with some success. Uses a limited range of vocabulary and structures.
B1+	Intermediate: A student at this level can express and support opinion and can handle a variety of uncomplicated communicative tasks with moderate success.
B2	High Intermediate: A student at this level can handle a variety of communicative tasks with success, although errors may be evident.
C1	Low Advanced: A student at this level can understand the main ideas of complex text on both concrete and abstract topics. Can communicate effectively in a variety of contexts and if miscommunication occurs, can repair them.
C1+	Advanced: A student at this level can handle a variety of communicative tasks with ease and confidence. Can almost always be understood with little effort by the general public and in academic settings.

(参考) UT Austin English Language Program (ELP) "Levels Offered"
<https://global.utexas.edu/english-language-center/programs/english-language>

インターンシップ? エクスターンシップ?

本プログラムにおけるインターンシップ実習では、ジョブ・シャドーイング*を主とした職業体験を行います。科目名、活動内容を表す言葉として「インターンシップ」を用いますが、実際の取り組みは「エクスターンシップ**」となります。

* ジョブ・シャドーイング (Job shadowing)

『特定の職能技術の習得を目指すものではなく、職場の実際を観察することによって自らの関心や興味を再吟味する契機を提供する体験的学習としての特質を持つ、短時間の職場見学では知り得ない職業人の『働きざま』の一端に触れることそれ自体が有する教育的価値に注目した実践である。』

(藤田晃之, 2004, 「諸外国の若者就業支援政策の展開—ドイツとアメリカを中心に—」『労働政策研究報告書』No. 1, pp.108-119.)

** エクスターンシップ (Externship)

企業、NGO 等での職場体験プログラム。組織内の実務を体験・見聞することで、自らの将来像をより具体的に考えるきっかけとし、残りの学生生活で獲得すべき目標について明確にしていく。日本ではこのようなプログラムを「インターンシップ」と呼ぶのが一般的だが、アメリカでは卒業前後、仕事に就く前に行う職場体験を「インターンシップ」、大学在学中に行うものを「エクスターンシップ」と呼び区別している。(エクスターンシップでは報酬は支給されない。)

インターンシップ先の決定方法(過去例)

[出発前]

- ・英文履歴書 作成
- ・Self-introduction / Self-promotion 動画 作成
- ・APU コーディネータによる面談
- ・UT Austin プログラム担当者によるヒアリング

[現地到着後]

- ・UT Austin プログラム担当者によるヒアリング(最終)
- ・受入先との最終調整 ⇒ 決定

インターンシップ先(過去例)

- ・Texas Global Passport Center (パスポートセンター)
- ・UT Austin Recreational Sports (大学オフィス - スポーツ・レクリエーション)
- ・UT Austin Texas Global - Administrative Operations (大学オフィス - 国際オフィス)
- ・UT Austin ELC Foundation Year Team (大学オフィス - 新入生支援チーム)
- ・UT Austin Outpost (大学オフィス - 学生支援)
- ・Austin Public Library (市民図書館)
- ・UT Austin Travel Management Services (大学オフィス - 出張・旅行支援センター)
- ・UT Austin Conference and Event Services (大学オフィス - 会議・イベント支援センター)
- ・Blanton Museum of Art (美術館 - 館内案内・ガイド)
- ・Interfaith Action of Central Texas (NPO 難民・生活困窮者支援 - 広報など) 他

UT Austin 正規科目聽講(過去実績)

- ・Fundamentals of Advertising
- ・Introduction to Astronomy
- ・American art, 1958-1985
- ・Color in Theory and Practice
- ・Fundamentals of Financial Acc
- ・Professional Communication Skills
- ・Business to Business Marketing
- ・Individual Differences
- ・Sound and Space
- ・Communication for Executive Leadership
- ・The Healthy, Livable City
- ・Measuring Racial Inequality

科目概要

① 科目名称	(2017 カリ/2023 カリ共通) インターンシップ(共通教養科目)
開講言語	英語
担当教員	筒井 久美子 教授 (教育開発・学修支援センター)
評価・単位数	<ul style="list-style-type: none">・(2017 カリ/2023 カリ共通) P/F 評価・成績は次の通り付与: インターンシップ(共通教養科目) 4 単位

② 科目名称	(2017 カリ) 海外集中言語研修(言語教育科目) (2023 カリ) 集中言語研修(言語教育科目)
開講言語	言語教育科目のため開講言語はありません。
担当教員	ベルガー 舞子 准教授 (言語教育センター)
評価・単位数	<ul style="list-style-type: none">・(2017 カリ/2023 カリ共通) レターブレード・成績は以下の通り付与: (2017 カリ) 海外集中言語研修(言語教育科目) 4 単位 (2023 カリ) 集中言語研修(言語教育科目) 4 単位

合計単位数 8 単位

- ・セメスターの受講科目登録*上限単位数に含まれない。

*「受講科目登録」とは、現在の「履修科目登録」のこと。2026 年 1 月より名称変更予定のため、以後「受講科目登録」と記載する。

- ・上記取得単位は、2026 秋セメ科目として大学が自動登録
- ・成績問合せ時期:2026 秋セメ科目 成績問い合わせ期間と同じ

申請条件

学部、カリキュラム毎に申請条件が異なります。

学部	カリキュラム	条件
全学部共通	-	<ul style="list-style-type: none"> ・申請時(2025 秋)～派遣時(2026 秋)を通して通常在籍状態であること。 ・「英語中級 A/B」受講済みであること。申請時、「英語中級 A/B」受講中でも申請できますが、2025 秋セメスター終了時の単位修得が必要。(単位取得が出来ない場合、合格の場合でも参加取消)
APM	2017 /2023	<ul style="list-style-type: none"> ・申請時(2025 秋)、1～6 セメスターであること。 <p>注意</p> <p>[申請時 3 セメスターの学生]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・派遣時(2026 秋)、5 セメスターにおいて 専門演習科目の第 1 クオーターは事前に担当教員に相談のうえ、オンラインにて受講可能です。 ・派遣時(2026 秋)、5 セメスターにおいて、必修科目「ビジネス・エシックス科目」を受講できないため、プログラム終了の翌セメ(2027 春)に受講することになります。(大学側で科目登録を行います。) <p>[申請時4セメスターの学生]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・派遣時(2026 秋)、6 セメスターにおいて、専門演習科目の第 1 クオーターは事前に担当教員に相談のうえ、オンラインにて受講可能です。 ・5 セメスター時(2026 春セメ)に必修科目「ビジネス・エシックス科目」を受講します。万一、2026 春で単位取得が出来なかった場合、2027 春セメに再受講することになります。(大学側で科目登録を行います。) <p>[申請時5セメスターの学生]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・派遣時(2026 秋)、7 セメスターにおいて、演習科目を受講することはできます(2017 カリキュラムは「卒業研究」、2023 カリキュラムは「上級セミナー」)、担当教員に事前相談の上、派遣中の遠隔指導の了承を得る必要があります。 ・派遣時(2026 秋)、7 セメスターにおいて、必修科目「グローバルマネジメント(Capstone)科目」を受講できないため、プログラム終了の翌セメ(2027 春)に受講することになります。(大学側で科目登録を行います。) <p>[申請時 6 セメスターの学生]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7 セメスター時(2026 春セメ)に必修科目「グローバルマネジメント(Capstone)科目」を受講します。万一、2026 春で単位取得が出来なかった場合、2027 春セメに再受講することになり、<u>8 セメスター時に卒業することはできません。</u>(大学側で科目登録を行います。) ・(2023 カリキュラムの場合) 派遣時(2026 秋)、8 セメスターにおいて、「卒業プロジェクト」、「卒業論文」の受講はできません。 <p>※2023 カリキュラムの場合、演習の受講にあたって複数の前提科目が設定されている場合があります。派遣時期と前提科目の受講時期が重複する場合、前提科目の受講はできませんので、学修計画をしっかり立てた上で申請してください。</p>

学部	カリキュラム	条件
APS	2017	<ul style="list-style-type: none"> 申請時(2025 秋)、1~6 セメスターであること。 <p>注意</p> <p>[申請時3セメスターの学生]</p> <ul style="list-style-type: none"> 派遣時(2026 秋)、5 セメスターにおいて、専門演習科目の受講はできません。 <p>[申請時4セメスターの学生]</p> <ul style="list-style-type: none"> 派遣時(2026 秋)、6 セメスターにおいて、専門演習科目の受講はできません。 <p>[申請時5セメスターの学生]</p> <ul style="list-style-type: none"> 派遣時(2026 秋)、7セメスターにおいて、専門演習(卒業研究科目)を受講することはできますが、担当教員に事前相談の上、派遣中の遠隔指導の了承を得る必要があります。 <p>[申請時6セメスターの学生]</p> <ul style="list-style-type: none"> 派遣時(2026 秋)、8 セメスターにおいて、卒業研究 II(卒業論文)を受講することはできません。
		<ul style="list-style-type: none"> 申請時、1~2 セメスターであること。
ST	2023	<ul style="list-style-type: none"> 申請時(2025 秋)、4~6 セメスターであること。 <p>注意</p> <p>[申請時4セメスターの学生]</p> <ul style="list-style-type: none"> 「文献講読I」の単位を修得済である必要があります。 「文献講読II」を受講中でも申請できますが、2025 秋セメ終了時に単位修得が必要です。(単位取得が出来ない場合、合格した場合でも参加取消。) 派遣時(2026 秋)、6セメスターにおいて、専門演習科目(ゼミ)の受講が必須となります。派遣期間中の専門演習科目の第 1 クオーターは事前に担当教員に相談のうえ、オンラインにて受講可能です。 <p>[申請時5セメスターの学生]</p> <ul style="list-style-type: none"> 最終成果科目として「キャップストーン科目」を 7セメ時に受講予定の場合は、申請できません。 最終成果科目として「キャップストーン科目」を 8セメ時に受講予定の場合は、申請できます。 最終成果科目として「卒業研究」(7 セメ) + 「卒業プロジェクト」(8 セメ)を受講予定の場合、事前に「卒業研究」担当教員に相談の上、派遣期間中(Q1)の遠隔指導の了承を得る必要があります。 <p>[申請時6セメスターの学生]</p> <ul style="list-style-type: none"> 最終成果科目として「キャップストーン科目」を 7 セメ時に受講予定の場合は、申請できます。 最終成果科目として「キャップストーン科目」を 8 セメ時に受講予定の場合は、申請できません。 最終成果科目として「卒業研究」(7 セメ) + 「卒業プロジェクト」(8 セメ)を受講予定の場合、事前に「卒業プロジェクト」担当教員に相談の上、派遣期間中(Q1)の遠隔指導の了承を得る必要があります。

募集概要

募集時期	2025年12月2日(水)～2026年1月7日(水)14:00
派遣時期	2026年8月21日(金)出国～同年11月22日(日)帰国
募集人数	定員20名(最少催行人数:8名)
派遣先大学	<ul style="list-style-type: none"> The University of Texas at Austin (UT Austin) テキサス州立大学(テキサス州オースティン)(URL: https://www.utexas.edu/) 1883年創立 学生数(学部、大学院): 約52,000人(学部数: 18) ‘WORLD REPUTATION RANKINGS 2025 (THE 世界大学評判ランキング)’35位 ‘WORLD UNIVERSITY RANKINGS 2024 (THE 世界大学ランキング)’35位
派遣先でのプログラム内容	<p>英語学習+インターンシップ実習+留学体験(正規科目聴講)の3要素が揃うプログラム</p> <ul style="list-style-type: none"> 英語プログラム UT Austin 付設英語学校(ELC)で英語学習+ビジネス英語学習 インターンシップ 大学/周辺企業/NGO等での就業体験 及び 振り返り学習 正規科目聴講 全米トップクラスの大学で授業を聴講(1科目/単位授与無し)
授業外アクティビティ(任意)	<p>週末アクティビティ: フットボール観戦、郊外への小旅行等など。</p> <p>ELC/学生主催イベント: ELC主催イベント、学生団体主催イベント等参加可</p>

プログラム費用(概算)

項目	内容	金額
UT Austin プログラム 費*	宿舎、授業料・実習、ビザ手続き、教材、エクスカーション、空港-大学間送迎、学生証、委託費	US\$ 9,780 (約1,520,000円)
	事務手数料	約46,000円
航空運賃*	日本 - テキサス州オースティン間(往復)	約330,000円
危機管理*	危機管理サポート費	約8,000円
渡航関連	ビザ費及びビザ取得に関わる手続き費	約45,000円
保険	海外旅行保険	約45,000円
英語検定料	出発前 + 帰国後の2回	約6,000円
合計金額(概算)		約2,000,000円

*は大学側で手続きをするため、大学が徴収する項目となります。

[別途支払いが必要なもの]

- 日本国内の移動交通費(渡航日その他、ビザ面接会場への交通費を含む)
- 現地生活費 / 現地交通費 / 食費 / 予防接種費用(任意)など

[NOTE]

- 2025年11月中旬の為替レート(1US\$ = 156円)で試算した概算です。
- 最終金額は確定次第お知らせします。(2026年5月目途)
- 費用のお知らせから支払い期限まで1か月程度設けます。
- 「プログラムに要する費用」は日本円でAPUへの支払いとなります。
- 「ビザ費及びビザ取得に関わる手続き費」、「APU 指定海外旅行保険」の支払い方法と期限は、受講決定後に別途案内します。
- APU学費はプログラム費とは別途通常通りの納入が必要です。
- 万一最終合格発表後に、やむを得ず参加辞退する場合、キャンセル料が発生する可能性があります。詳しくは、[Off-campus Programsに参加するにあたっての遵守事項の「5.経費および補償に関する事項」](#)を参照してください。キャンセル料の算出は、以下表を指針としますが、下記は目安としての概算であり、実際のキャンセル料は辞退時点で既に発生した諸費用の総額となります。

日程	費用(目安としての概算)
参加決定後～2026/6/30間に辞退した場合	約20万円(プログラム費一部、VISA・渡航費等)
2026/7/1～8/8間に辞退した場合	約100万円(プログラム費一部、VISA・渡航費等)
2026/8/9以降に辞退した場合	プログラム費全額

受講に関する注意事項

演習科目の受講について

「申請条件」を確認の上、必要に応じて申請前にアカデミック・オフィス(演習担当)に相談・確認してください。
(B 棟 1F / Email: seminar1@apu.ac.jp)

必修英語言語科目の受講について

[申請セメスター(2025 秋)において、英語中級を受講中の場合]

本プログラムに参加するには、本セメスターにおいて英語中級 A/B の単位を修得する必要があります。単位修得できなかった場合は、合格取り消しとなり、プログラムに参加することはできません。

[派遣前セメスター(2026 春)において、英語準上級を受講する場合]

2026 年度春セメスターで単位を修得することが出来なかった場合、2027 年度春セメスターに受講することになります。その場合、大学が受講科目登録 A 期間(2027 年 3 月)に科目登録します。

受講登録における注意事項

① 受講可能 / 不可科目について

2026 秋セメスターは、受講科目登録が可能なクオーターとできないクオーターがあります。万一、誤って受講不可の科目を登録する等の問題が判明した場合も受講削除等の特別配慮は行いませんので注意してください。

	セメスター 開講科目	第 1 クオーター 開講科目	第 2 クオーター 開講科目	2026 年度 夏セッション科目	2026 年度 冬セッション科目
2026 年度春	○	○	○	○	-
2026 年度秋	×	×	○	-	○

○: 受講登録可能 / ×: 受講登録不可

② 現地実習中の APU 受講登録

- 現地実習中(2026 年 9 月下旬頃)、受講者は各自で APU の 2026 年度秋セメスター第 2 クオーター、及び冬セッション科目の受講登録を行う必要があります。時差がありますので、各自注意して受講登録を行ってください。受講登録に関わり、遠隔地にいる等の理由で特別措置はありません。
- 科目によっては、大学が自動登録を行います。[受講要項\(履修要項\)](#)を参照してください。

申請方法 / 申請後の流れ

申請期間中に、以下の通り申請してください。

申請期間: 2025 年 12 月 2 日(火)~2026 年 1 月 7 日(水) 14:00

- [Off-campus Programs サービスラーニングのウェブサイト](#)から申請ページにアクセスしてください。
- 申請ページは申請期間開始と同時に公開されます。
- 複数回提出した場合、提出日が新しいものを受け付けます。
- 申請のプロセスで、以下が必要になります。予め準備した上で申請してください。
- パスポートの顔写真ページ、申請用顔写真のアップロード
- 志望理由や将来のキャリアビジョンに関するエッセイ

パスポートについて

現在持っているパスポートが以下有効期限を満たしていない場合、速やかに更新手続きをしてください。

国籍	有効期限
日本国籍	2026 年 12 月 7 日
外国籍	2027 年 5 月 25 日

パスポート未取得の場合、2026 年 2 月 27 日(金)までに取得できるよう申請方法を調べて取得してください。

パスポートコピー/顔写真のアップロードについて

ファイルは、以下の例に習ったファイル名で保存した上で、アップロードしてください。

パスポート: Passport_氏名_学籍番号 (例: Passport_YamadaTaro_11223344.pdf)

顔写真: Photo_氏名_学籍番号 (例: Photo_YamadaTaro_11223344.pdf)

募集ガイダンス

- 2025年12月3日(水) 5限(16:10~17:10)
- 形式: 対面
- 場所: J201
- 内容: プログラム紹介、先輩学生による体験談披露、Q&A

選考方法

志望理由書を重視した書類審査、面接審査(英語力審査含む)等による総合的な選考を行います。

選考期間および選考結果発表

各審査日程(予定)は以下の通りです。

- 面接審査に進む方には、書類審査結果発表時に面接日時も合わせてお知らせします。
- 面接審査は30分程度を予定しています。授業受講以外の理由で、面接日時を変更することはできません。
- 面接審査を無断で欠席した場合、受講意思が無いものとみなし、選考から外します。

書類審査結果発表(面接日程発表)	2026年1月12日(月)
面接審査	2025年1月13日(火)、1月15日(木)、1月16日(金)
選考結果発表	2025年1月19日(月) Student Portal ※で通知 (※2026年1月から「キャンパス・ターミナル」が新システム「Student Portal」へ移行予定)

受講者ガイダンス①(科目概要等) ※受講が決定した場合出席必須

日時: 2026/1/21(水) 5限 (16:10~)
形式: 対面(教室:受講決定後に別途連絡)

受講者ガイダンス②(ビザ・ガイダンス) ※受講が決定した場合出席必須

日時: 2026/4/3(金) 14:00~15:00
形式: 対面(教室:受講決定後に別途連絡)

受講者ガイダンス③(予防接種、保険等) ※受講が決定した場合出席必須

日時: 2026年5月中旬
形式: オンデマンド(受講決定後に別途連絡)

危機管理授業 ※受講が決定した場合出席必須

日時: 2026年7月中旬
形式: オンデマンド(受講決定後に別途連絡)

出発前ガイダンス ※受講が決定した場合出席必須

日時: 2026/7/15(水) 5限 (16:10~)
形式: 対面(教室:受講決定後に別途連絡)

成績付与/成績問い合わせ

科目登録/成績付与されるセメスター: 2026年度秋セメスター
成績問い合わせ時期: 2026年度秋セメスター科目 成績問い合わせ期間と同じ

プログラム受講決定後の提出物について

プログラム受講決定後、対応が必要な項目や提出物が複数あります。期日ごとの詳細は以下で確認してください。「[プログラム受講が決定した後の提出物](#)」

参加における注意事項 / 連絡事項

【注意】基本的な注意事項は巻末添付「[Off-campus Programsに参加するにあたっての遵守事項](#)」に記載しているため、必ず確認した上で申請してください。以下には本プログラム独自の参加条件を記載していますので、熟読した上で応募を検討してください。

1. 保険料 **※ 詳細は受講者ガイダンスで案内します。**

- 個人で既に加入している場合も含め、APU 及び派遣先大学が指定する海外旅行傷害保険および危機管理システムへの加入が必要です。危機管理システム料については、若干変動する可能性があります。
- 保険加入期間は、プログラム期間にかかわらず日本出国日から日本帰国日の全ての日数を含めなければいけません。保険料は海外渡航日程に基づき計算されますが、おおよその価格は以下の通りです。

渡航日数	海外旅行保険料	危機管理システム料
46 日まで	18,460 円程度	5,000 円
53 日まで	21,500 円程度	6,000 円
2 か月まで	24,910 円程度	8,000 円
3 か月まで	33,810 円程度	10,000 円

(参照)海外旅行保険料URL: <https://www.creohuman.co.jp/business/travel-ins/>

- 保険加入プランは、原則「標準プラン」となります。「充実プラン A」または「充実プラン B」への加入を希望する場合はクレオヒューマンからの案内に沿って申請してください。
- 保険加入手続きの流れ(詳細は、受講者ガイダンスにて案内)

時期	流れ
1/21(水)	受講者ガイダンスにて海外旅行保険加入手続きに関する説明
6/3(水)	海外旅行保険被保険者告知書(日本出国・日本帰国日の申告)提出期限 (希望者のみ)保険プラン変更希望の申請 提出期限
6/4(木) ~	クレオヒューマンより、海外旅行保険料をメール通知
6/14(日)	海外旅行保険料の支払期限
7/15(水)	出発前ガイダンスで海外旅行保険証券を配布

2. 渡航に関わる手続き

航空券・渡航

- 航空券は大学が手配します。
- 支払方法・フライトスケジュールは受講決定後にお知らせします。
- 航空経路は日本出国・日本帰国とし、他参加者と共に渡航・帰国します。現地集合、現地解散はできません。また、渡航スケジュールは本学が指定し、個人都合による行程の変更はできません。

査証(ビザ)

- 米国 J-1 ビザの取得が必要です。
- ビザ申請は大学が一括して取りまとめ、指定のビザ代理申請会社を通じて申請します。
- J-1 ビザ取得は、米国大使館又は領事館で面接を受ける必要があります。詳細は参加決定後にご案内します。
- 参加決定後に行われるビザ・ガイダンス(2026年4月上旬予定)にて、ビザ申請書類、パスポート(原本)等を提出していただきます。余裕を持って、期限が有効なパスポートを準備してください。
- ビザは、国籍、その他様々な事情により取得が困難な場合もあります。万一本学が取得できない場合は、プログラム参加不可となり、その場合、参加不可に関わる一切の費用(キャンセル料金等)は学生本人の負担となります。
- 【国際学生のみ】プログラム実施国のビザ以外に、日本の在留許可期限及び再入国許可の期限も確認してください。在留許可期限の更新・再入国許可について分からなれば、スチューデント・オフィスで確認してください。

予防接種

- 受講者ガイダンスにて、APU ヘルスクリニックが推奨する予防接種の種類等を案内します。予防接種は必須ではありませんので、接種するかどうか各自判断してください。接種を希望する場合は、各自ヘルスクリニックで病院予約の手続きを行ってください。

宿泊形態

- 派遣先での実習期間中、UT Austin が斡旋するアパートに居住します。
- 基本的に 1 つのフラットを 2~4 人でシェアします。
- 設備: ベッドルーム 1 人一部屋 / シャワー・トイレ 各自のベッドルームに完備 / キッチン・リビング 2~4 人で共同 / ルームメート APU 学生、UT Austin 学生、UT Austin(ELC 含む)の留学生

3. 免責事項・注意事項

海外実習時における注意事項

- 本プログラムの実習期間中に、プログラムの当事者(APU、派遣先大学、現地機関)以外の第三者(組織、個人、ホームステイ先等)による不法行為が原因で本人に事故や損害が生じた場合、本人が訴訟、それに関わる対応等の責任を負わなければなりません。プログラム当事者(APU、派遣先大学、現地機関)はその責任は負いません。
- 感染症の状況や社会情勢、政府の方針等により行動制限される可能性があります。また、感染症その他安全管理については十分に注意してください。

派遣中止について

- 感染症の蔓延、社会情勢、派遣先の都合等の状況によっては、派遣中止判断を行う可能性があります。(添付)[Off-campus Programsに参加するにあたっての遵守事項「2.参加の取消・派遣の中止に関する事項」](#)参照)
- 派遣中止や中断、内容の変更があった場合、本学および派遣先にいかなる費用も請求せず、キャンセル費用等を負担する必要があります。
- 派遣中止になった場合、プログラム開始後でも成績ならびに単位は付与されません。

奨学金

日本学生支援機構(JASSO) 海外留学支援制度(協定派遣) 奨学金

本プログラムは日本学生支援機構(JASSO)の奨学金受給対象となる予定です。対象となった場合、受給を希望する学生で所定の成績(GPA)及び家計基準等を満たした学生は奨学金を受給することができます。受給額は8万円/月、計24万円となる予定です(変更となる場合があります。)

奨学金の受給を希望する場合は、2025年12月下旬にアウトーチ・リサーチ・オフィスHP「留学のための奨学金制度」ページに募集要項と申請フォームが公開される予定ですので、よく読んだ上で期間内に申請してください。今回の奨学金は、APUが2026年度のJASSO奨学金対象校に採択されることを前提に募集を行います。

APUがJASSO奨学金対象校になるかどうかは2026年1月末に判明する予定です。もしAPUが採択されなかった場合は、応募そのものが無効になります。その点、申請前にご了承ください。

- 申請期間: 2026年2月6日(金)~2月20日(金)14:00
- 合格発表: 2026年3月20日(金)
- アウトーチ・リサーチ・オフィスHP「留学のための奨学金制度」

<https://www.apu.ac.jp/abroad/support/scholarship/>

今後のスケジュール

2025年	
12/2(火)	募集開始
12/3(水)5限(16:10~17:10)	募集ガイダンス(対面/教室:J201)
2026年	
1/7(水) 14:00	募集〆切
1/12(月)	書類審査結果、面接日程発表
1/13(火)、15(木)、16(金)	面接審査
1/19(月)	最終選考結果発表
1/21(水)5限(16:10~17:50)	受講者ガイダンス①(科目概要等)
4/3(金) 14:00~15:00	受講者ガイダンス②(ビザ・ガイダンス)
4月~7月(水曜5限/各月1回)	事前授業(インターンシップ科目 計4回)/英語科目 計4回)
5/中旬	受講者ガイダンス③(予防接種、保険等)
5~6月クオーターブレーク	ビザ面接(福岡 or 大阪)
7月中旬	危機管理授業(オンデマンド)
7/15(水) 5限	出発前ガイダンス(対面)
8/21(金)	日本出発(同日現地着)

9月下旬	APU 2025 度秋セメスター受講登録（各自）
11/21(土)	現地出発（翌 22 日(日) 日本帰国）
12 月～1 月（水曜 5 限）	事前授業(インターンシップ科目 計 4 回)/英語科目 計 1 回
2027 年	
2 月	派遣先大学より Transcript 受理、単位認定
3 月	受講登録、成績発表(成績問い合わせ)

*上記以外にも各種ガイダンスが行われる場合があります。詳しくは参加決定後に案内します。

プログラム受講が決定した後の提出物

【重要】 参加に必要な提出物・プログラム費等の納付・提出は責任をもって指定期日までに行うこと。指定期日までに提出物の提出・プログラム費等の納付が完了しなかった場合、いかなる理由であってもプログラム参加取り消しとなります。

日程	内容
1/28(水) 14:00	<input type="checkbox"/> 誓約書 <input type="checkbox"/> 経費支弁書 ※申請の時点で、必ず保証人の同意を得ること。誓約書は申請者本人および保証人両者の電子署名が、経費支弁書はプログラム費を支弁する人物の電子署名が必要(オンライン提出)
2/27(金) 14:00	<input type="checkbox"/> 受講確定後サーベイ (パスポート画像(申請時未提出者のみ)、インターンシップ希望、ビザ関連の確認、プログラム広報に関する確認、海外旅行保険プラン選択、健康状況自己申告)
6/3(水) 14:00	<input type="checkbox"/> 海外旅行保険被保険者告知書
2026年 6 月	<input type="checkbox"/> プログラム費及び海外旅行保険の支払

サービスラーニング・プログラムに関する問い合わせ先

アウトリーチ・リサーチ・オフィス A 棟 2 階

担当者: 永松、灘波

Email: atfs@apu.ac.jp

2025年度 立命館アジア太平洋大学Off-campus Programsに 参加するにあたっての遵守事項

立命館アジア太平洋大学Off-campus Programs(以下「プログラム」という。)に参加する学生は、次の事項を遵守しなければならない。

1. 基本姿勢

- (1) プログラムの目的と主旨を理解し、積極的に真面目な態度で勉学に励まなければならないこと。
- (2) 立命館アジア太平洋大学(以下「本学」という。)の学生として自覚と誇りを持って、本学および派遣先大学・機関(以下「派遣先」という。)の名誉を傷つける行動は慎まなければならないこと。
- (3) プログラム期間中は、日本の法令および本学の諸規則の他、派遣先の国・地域の法令および諸規則を遵守し、本学および派遣先の教職員の指示に従わなければならないこと。
- (4) 派遣前後に実施する事前/事後授業やガイダンスは必ず出席しなければならないこと。
- (5) プログラム申請をした時点で受講の意思があるものとして選考をされているため、選考結果発表後の辞退は認められること。
- (6) 遵守事項に反する事態を生じさせた場合は、本プログラムへの参加取消または帰国措置を命じられても、異議を申し立ててはならないこと。

2. 参加の取消・派遣の中止に関する事項

- (1) [全派遣プログラム(交換留学・ダブルディグリープログラム・キャンパスアジアプログラム・短期サマー/ウインタープログラム除く)]
参加に必要な提出物の提出、プログラム費の納付、パスポートおよび査証(ビザ)の取得、保険の加入等必要な手続きは本人が責任をもって指定期日までに行わなければならないこと。指定期日までに提出物の提出、プログラム費の納付、パスポートおよび査証(ビザ)の取得、保険の加入等必要な手続きが完了しなかった場合は、いかなる理由であってもプログラムの参加が取り消されることを了承する。
- (2) [交換留学・ダブルディグリープログラム・キャンパスアジアプログラム・短期サマー/ウインターパログラム]
参加に必要な提出物の提出、プログラム費の納付、パスポートおよび査証(ビザ)の取得、保険の加入等必要な手続きは本人が責任をもって指定期日までに行わなければならないこと。指定期日までに提出物の提出、プログラム費の納付、パスポートおよび査証(ビザ)の取得、保険の加入等必要な手続きが完了しなかった場合、参加取り消しをされる場合があることを了承する。
- (3) 上記に加え、以下のいずれかに該当する場合、合格発表後であっても、参加者のプログラム参加が取り消されることがあること。
 - A) 参加態度、出席状況等を勘案し、受講不適当と判断された場合
 - B) 選考結果発表後、懲戒処分の対象となった場合
 - C) 負傷、病気等で留学が適当でないと本学が判断した場合
 - D) プログラム期間中の禁止行為を行った場合
 - E) プログラム所定の継続条件を満たさなかった場合
 - F) 学籍を喪失した場合
 - G) その他学生としての本分に反した場合
- (4) 参加を取り消された場合、成績は「F」評価となる。(事前授業が開始される前に参加を取り消された場合は、「履修取消」となる)ことを了承する。ただし、交換留学・ダブルディグリープログラム、キャンパスアジアプログラムおよび短期サマー/ウインターパログラム除く。
- (5) 次に当てはまる場合は、本学の判断により学生派遣が中止されることを了承する。
 - A) 派遣先国・地域についての外務省の危険情報がレベル2以上である場合。ただし、新たな感染症の蔓延等により、感染症危険情報が発令された場合は、状況に応じて判断する。
 - B) 実習先での天災、災害、ストライキ、伝染病、現地情勢の変化、交通機関の運航状況、現地医療状況、戦争、テロ、引率者の怪我や急病及びそれに類する事象、危機発生時の派遣先機関における派遣学生への支援内容その他不可抗力に起因する事態が発生した場合。
 - C) 派遣先が、渡航を伴うAPUからの学生受入中止を判断した場合

3. プログラム実施場所への集合・解散に関する事項

[全海外派遣プログラム(FIRST、サービスラーニングを除く)]

- (1) プログラム期間中は現地集合および現地解散となることを了承し、行程中の安全確保も含め自己責任で行動すること。
- (2) 学生本人が航空券の手配を行い、本学が指定する期日までに旅程の提出を行うこと。
- (3) 予め本学に提出した旅程を理由なく変更しないこと。変更した場合は、変更した旅程を本学に提出すること。
- (4) プログラム参加のための渡航期間以外での行動は本学の責任ではなく、すべて参加者本人の責任において行動すること。

[FIRST、サービスラーニング]

- (1) プログラムは現地集合および解散は認められず、プログラム実施期間前に個人で入国してはならないこと。
- (2) プログラム実施期間終了後は、速やかに帰国しなければならないこと。派遣先国の滞在期間延長は、認められない。

4. 健康・安全管理に関する事項

- (1) [全海外派遣プログラム(FIRST、サービスラーニングを除く)] 渡航前に、日本出国および日本帰国までのすべての渡航期間について、本学が指定する海外旅行傷害保険に加入すること。また、本学が指定する期間について、危機管理支援システムに加入すること。
[FIRST、サービスラーニング] 渡航前に、本学が指定する海外旅行傷害保険および危機管理支援システムに加入すること。
[国内プログラムの場合] 本学が指定する国内旅行傷害保険へ加入すること。
- (2) 健康管理は、自らの責任で行うこと。また、健康状況および学修支援の要否を所定の書式にて申告すること。
- (3) 既往症等がある場合は、申し出ること。
- (4) 傷病等により入院治療の医療措置が必要となった場合は、すみやかに本学および派遣先に報告するとともに教職員の指示に従うこと。

ただし、これらの措置に必要な費用の内、保険の補償限度額超過分については、本人が負担すること。

- (5) 緊急に医療手当または手術の必要が生じ、本人または保証人の同意を得る時間的猶予がない場合は、本学もしくは派遣先の教職員または医師の判断によって処置することに同意すること。
- (6) 本学もしくは派遣先の教職員によって医療行為が必要と判断された状況下で、自らの意思で受診をしなかった場合、如何なる問題が起きたとしても本学、派遣先はその責任を負わないこと。
- (7) 予防接種について、本学から推奨された予防接種を希望する場合、各自ヘルスクリニックで病院予約の手続きを行うこと。予防接種が必須の場合、ガイダンスでの指示に従うこと。

5. 経費および補償に関する事項

- (1) 締切期日までの提出物提出またはプログラム費納付の未完了、本人の傷病、処分等の理由によってプログラムへの参加または継続ができなくなった場合、または辞退した場合には、その時点までに発生した費用を支払うこと。
- (2) 天災、災害、ストライキ、伝染病、現地情勢の変化、交通機関の運航状況、現地医療状況、戦争、テロ、引率者の怪我や急病及びそれに類する事象その他不可抗力に起因する事態によって、プログラムの中止や内容の変更があった場合、本学および派遣先にいかなる費用も請求せず、その時点までに発生した費用を支払うこと。
- (3) プログラムに要する費用を本学に納入済みの場合、派遣中止、参加取消または辞退までに発生した費用を差し引いた差額が返金されることを了承すること。また、返金手続きには一定期間を要することを了承すること。
- (4) 本学および派遣先が管理できない状況下で、事故、病気または死亡事故が発生した場合、本学および派遣先に対して何等の金銭的またはその他の責任を問わないこと。
- (5) 本人の所有物の盗難や損害、交通事故、刑事事件等が本学および派遣先が管理できない状況下で発生した場合は、本人の責任で対応しなければならないこと。
- (6) 本人の故意または過失により、第三者または本学に損害を与えた場合は、賠償の責を負わなければならないこと。
- (7) プログラムの実習期間中に、本学、派遣先以外の第三者団体、個人、ホームステイ先等による不法行為が原因で本人に事故や損害が生じた場合、本人が訴訟やそれに関わる対応等の責任を負わなければならず、本学および派遣先はその責任を負わないこと。

6. 査証(ビザ)取得に関する事項

- (1) 出発から帰国までに必要となる査証(ビザ)を確認の上、学生本人の責任で申請すること。
- (2) 必要となる査証(ビザ)は、本人の国籍や派遣国・地域、滞在期間などによって異なるため、必要となる査証(ビザ)(トランジットビザを含む)および必要書類等は、各大使館のホームページ等で各自確認すること。
- (3) 査証(ビザ)申請要件は予告無しに変更される場合があるため、最新情報を入手すること。オンアライバルビザ(On-arrival Visa)での参加は、査証(ビザ)発給国の定めにより渡航前に査証(ビザ)を取得できない場合以外は認められない。
- (4) 万一、査証(ビザ)が取得できない場合は、派遣または留学は取り消しとなること。また、査証(ビザ)が取得できなかったことを理由として、派遣または留学開始時期の変更等は行わない。
- (5) [国際学生のみ]プログラム実施国の査証(ビザ)以外に、日本の在留許可期限および再入国許可の条件を確認すること。

7. 履修計画について

- (1) プログラム応募に際して、履修科目および修得単位数が、卒業までの履修計画において問題がないか、十分に確認すること。
- (2) 卒業までの履修に関わって問題が判明した場合に本学は特別な配慮等は行わないため、自己責任において応募を行うこと。

8. 誓約書の提出

上記事項を理解し、本人および保証人による誓約書を提出すること。

誓 約 書

私は、下記プログラムに参加するにあたり、募集要項、シラバス(交換留学・ダブルディグリープログラム・キャンパスアジアプログラム・短期サマー/ウインタープログラム除く)および別紙の遵守事項を理解し、各事項を厳守し、誠実に履行することを、ここに誓約します。申請書やその他提出書類に記載した個人情報(氏名、性別、生年月日、その他本プログラムに係り大学へ提供した情報)は、プログラム参加手続および本学が管理・運営に関する業務の目的のために、本学内で使用されること、また、第三者(派遣先大学・機関、旅行代理店、査証取得代行会社、保険会社、危機管理サポート会社、宿泊施設、関係国(日本、参加学生の母国、派遣国)の在外公館及び政府機関)に提供されることに同意します。

本人記入欄

日付 _____

学生本人署名 _____ ※「描画」で署名して下さい(タイプ入力不可)

学籍番号 _____

参加プログラム _____ (派遣先大学・機関: _____)

所属 (APM / APS / ST / GSM)

回生 (1 / 2 / 3 / 4 / その他)

郵便番号 〒 _____

住所 _____
※入力した内容が正しいかを再度ご確認下さい

保証人記入欄 ※保証人欄は、父母・身元引受者が記載してください。

■私は、募集要項、シラバス(交換留学・ダブルディグリープログラム・キャンパスアジアプログラム・短期サマー/ウインターパログラム除く)および別紙の遵守事項を本人に遵守させるとともに、これに反することによって生じた一切の事項について責任を持つこととします。また、プログラム参加において本人が負担する一切の債務については、プログラムに要する費用を限度額として保証いたします。

日付 _____

保証人署名 _____ ※「描画」で署名して下さい(タイプ入力、本人による代筆不可)

郵便番号 〒 _____

住所 _____
※入力した内容が正しいかを再度ご確認下さい

電話番号 _____

本人との関係 _____

【以下のいずれかに該当する場合、保証は無効であるため、プログラム参加によって生じる一切の債務は、学生自身が負担することとなります】

- ・ 本人または保証人の署名がそれぞれの当人による直筆でない場合、または、両人の記入欄における筆跡が同一人物のものであると判断される場合
- ・ 友人や知人などが保証人になっているなど、その保証能力に欠けると本学が判断する場合
- ・ 記入欄に未記入箇所がある場合
- ・ その他、内容について虚偽の疑いがある場合